

2015年3月期
(2014年度)

第1四半期
決算概要

RICOH
imagine. change.



2014年7月31日
株式会社リコー
常務執行役員 財務担当
瀬川 大介

*新たな事業の柱の創出を目指し産業向け事業拡大を加速するために
リコーインダストリアルソリューションズ株式会社の設立を発表。
(写真:FA、セキュリティ向けカメラ・レンズ)

本資料に記載されている、リコー(以下、当社)現在の計画、見通し、戦略などのうち、歴史的
事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは、現在入手可能な情報から
得られた当社の経営者の判断に基づいております。

従って、実際の業績はこれらと異なる結果となる場合がありますので、これら業績見通しにの
み全面的に依拠なさらないようお願い致します。

実際の業績に影響を与える重要な要素には、a) 当社の事業領域を取り巻く経済情勢、景
気動向、b) 為替レートの変動、c) 当社の事業領域に関連して発生する急速な技術革新、
d) 激しい競争にさらされた市場の中で、顧客に受け入れられる製品・サービスを当社が設計
・開発・生産し続ける能力、などが含まれます。ただし、業績に影響を与える要素はこれらに
限定されるものではありません。(参照:「事業等のリスク」www.ricoh.com/ja/IR/risk.html)

本資料に他の会社・機関等の名称が掲載されている場合といえども、これらの会社・機関等
の利用を当社が推奨するものではありません。

本資料に掲載されている情報は、投資勧誘を目的にしたものではありません。
投資に関するご決定は、ご自身のご判断において行うようお願い致します。

- ✓ 1Q売上高: 5,264億円、前年同期比 +2.3%増収
- ✓ 1Q営業利益: 271億円、前年同期比 +22.2%増益
- ✓ 1Q当期利益: 150億円、前年同期比 +28.8%増益
- ✓ サービス事業や産業分野の堅調な拡大、構造改革効果、為替影響などにより増益
- ✓ 期初の上期・通期業績見通しを継続

当年度より、従来の米国会計基準(US-GAAP)に替えて国際会計基準(IFRS)を適用しております。
当資料においては、前年度の数値も一部IFRSベースに置き換えて表記しています。

- 第1四半期の売上高は、5,264億円（前年同期比+2.3%）の増収、営業利益は、271億円（前年同期比+22.2%）の増益
当期利益は、150億円（前年同期比+28.8%）の増益となりました。
- サービス事業や産業分野の堅調な拡大、構造改革効果、為替影響などにより増益となりました。
- 期初の上期・通期業績見通しは継続します。

2015年3月期 第1四半期 損益計算書

RICOH
imagine. change.

(単位: 億円)	IFRS		前年同期比較		
	FY2014/03 Q1実績	FY2015/03 Q1実績	差	伸び率	為替影響 除く伸び率
売上高	(国内) 2,061	2,054	-7	-0.4%	-0.4%
	(海外) 3,085	3,210	+124	+4.0%	-0.8%
	合計 5,146	5,264	+117	+2.3%	-0.6%
売上総利益	2,112	2,193	+80	+3.8%	
	(対売上高%) 41.0%	41.7%			
販売費&一般管理費	1,890	1,921	+31	+1.6%	
	(対売上高%) 36.7%	36.5%			
営業利益	222	271	+49	+22.2%	
	(対売上高%) 4.3%	5.2%			
税引前利益	207	258	+50	+24.1%	
	(対売上高%) 4.0%	4.9%			
四半期利益(親会社の所有者に帰属)	117	150	+33	+28.8%	
	(対売上高%) 2.3%	2.9%			
一株当たり四半期利益	16.14	20.80	+4.66		
為替レート	円/US\$ 98.79	102.15	+3.36		
	円/EURO 129.04	140.13	+11.09		

<投資関連実績>

(単位: 億円)	FY2014/03 Q1実績	FY2015/03 Q1実績
研究開発投資	280	279
売上高比率	5.5%	5.3%
研究開発費	267	276
設備投資	166	182
減価償却費 (有形固定資産)	144	174

<FY2015/03 Q1為替レート>

	Q1実績	Q1想定
1USドル	102.15円	100.00円
1ユーロ	140.13円	140.00円

July 31, 2014

(C)2014 Ricoh Company, Ltd. All Rights Reserved

3

- 1Qはほぼ計画どおりの着地と捉えています。

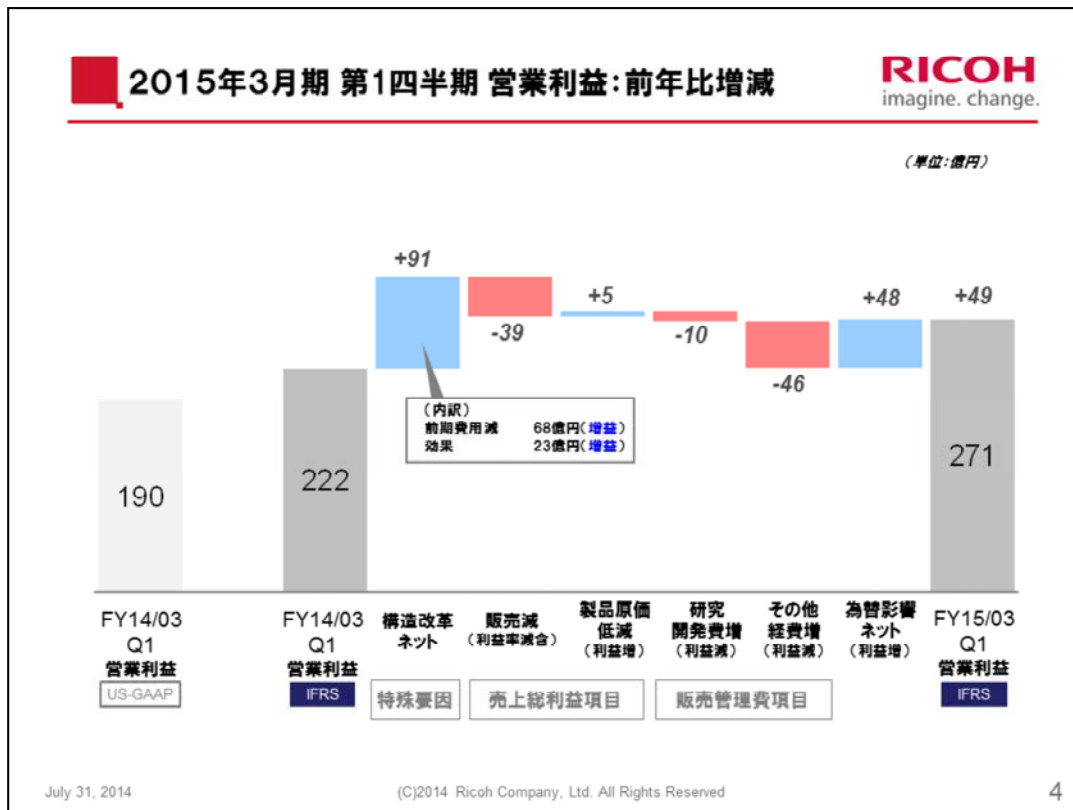
<売上高>

- 売上高は5,264億円（前年同期比+2.3%）の増収、為替影響を除くと前年同期比-0.6%の減収となりました。
- 売上高の減収は、海外でオフィスイメージングの売上高が計画を下回ったことが主な要因です。国内では、増税前特需の反動減が懸念されていましたが、想定ほど減少しませんでした。
- 社内計画に対しては、若干下回りましたが、ほぼ計画とおりです。

<利益>

- 営業利益は271億円（前年同期比+22.2%）の増益となりました。上期見通しの550億円に対して、順調に進捗しています。
- カラーMFPの増加によるプロダクトミックスの改善により粗利率が改善しています。また、構造改革効果と為替影響も増益に寄与しました。
- その結果、当期利益150億円となり、約3割の増益を達成できました。

なお、今回の決算以降、四半期ベースの前年実績が順次IFRSベースに置き換えられます。



<構造改革>

- 構造改革による効果は、予定どおり+91億円となりました。
内訳は、前年度費用68億円、それに伴う効果23億円です。

<販売減>

- 販売減により売上総利益が減少しました。
オフィスイメージングの売上が計画を下回ったのが原因です。
- 増税前特需の反動減は想定ほどは出ませんでした。Q1前半に前年度の新製品の供給不足の影響が若干残り、MFPの販売が減少しました。
- 加えて、欧州ではマクロの回復遅れの影響を受け、売上高が伸び悩みました。

<製造原価低減>

- 製品原価低減の活動により5億円の利益を創出しました。

<研究開発費>

- 研究開発費が前年同期比で10億円増加しましたが、計画どおりの支出です。
研究開発費には、下期投入予定の新製品の開発などが含まれています。

<その他経費>

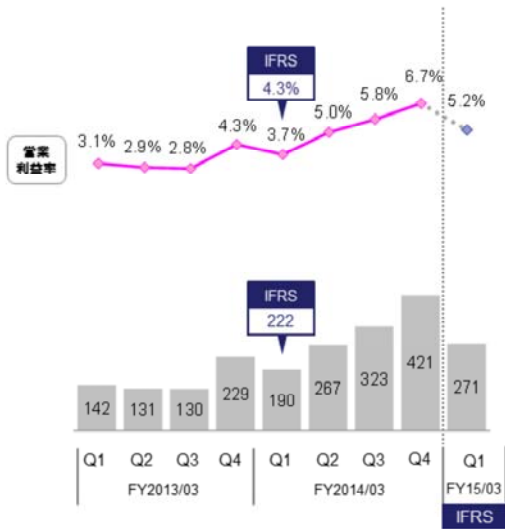
- その他経費は、前年同期比で46億円増加していますが、予定どおりの支出です。
前年度に実施したITサービス会社の買収などを含むサービス事業の体制強化、昇給・賞与の増加により経費が増えました。

<為替影響>

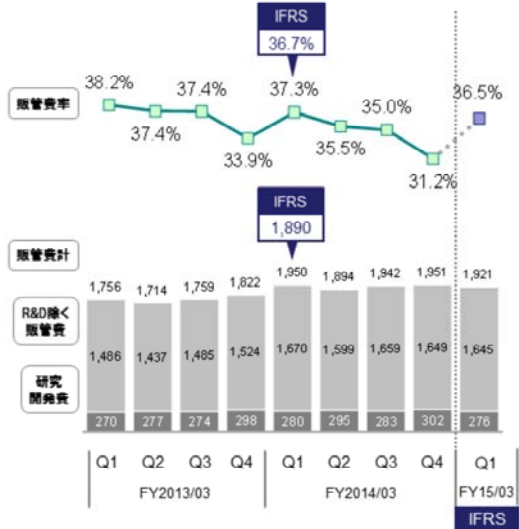
- 円安による増益効果+48億円となりました。

以上の結果、営業利益271億円（前年同期比+22.2%）となりました。

営業利益 (単位: 億円)



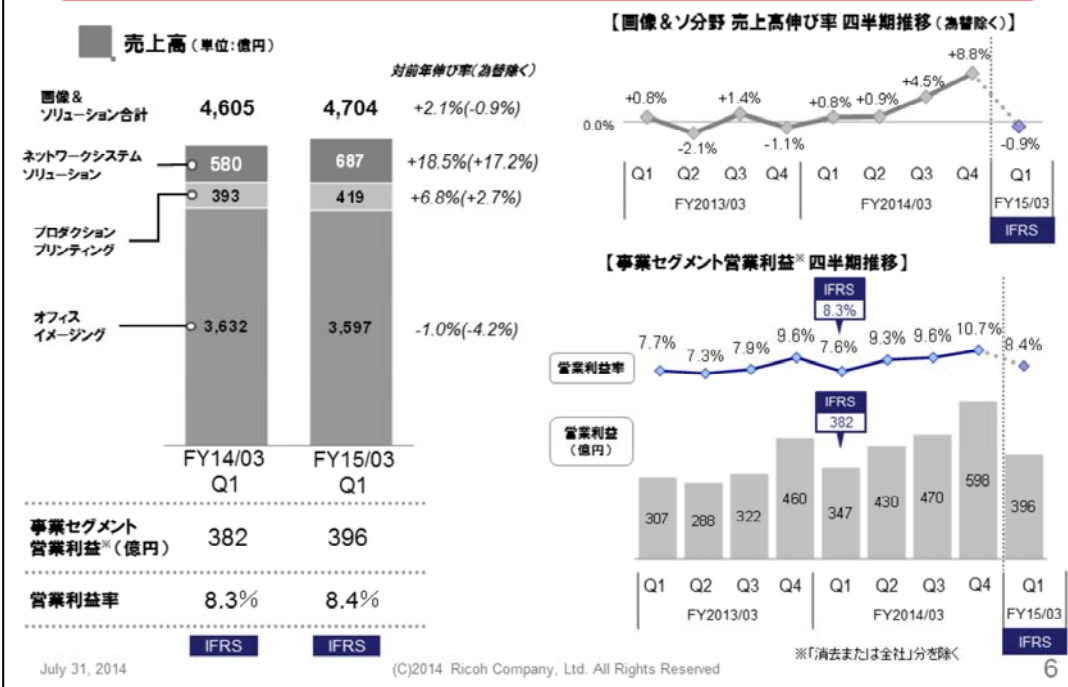
販売費および一般管理費 (単位: 億円)



- 営業利益、営業利益率は引き続き前年同期比で改善基調にあります。
- 販管費率は、前年同期比-0.2%の改善となりました。

画像&ソリューション分野(1)

RICOH
imagine. change.



- 売上高は4,704億円（前年同期比+2.1%）の増収、為替除くと-0.9%の減収となりました。

<オフィスイメージング>

- オフィスイメージングの売上高は3,597億円、為替除くと-4.2%の減収となりました。
- 減収の要因は主に、前年度の新製品供給トラブルによる営業活動の低下、それに伴うカラーMFPノンハードの積みあがり遅れ、欧州のマクロ回復遅れによる台数減などが影響しました。
- 国内は、6月からカラー/モノクロMFPともに販売は回復しています。欧米も、6月からカラーMFPの販売が回復しています。

<プロダクションプリンティング>

- カラー/モノクロのカットシート機を中心に伸びています。

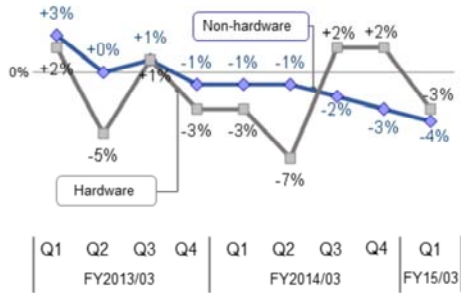
<ネットワークシステムソリューション>

- サービス事業の売上は全世界で好調に拡大しています。
- 国内では、Windows XPの買い替え特需が4-5月も継続し、海外ではITサービスの売上が拡大しました。

■ 主な製品・サービスの状況

【MFP・プリンタ・PP計 前年同期比伸び率推移】

(金額ベース、為替除く)



⇒ 詳細は巻末の「データ集」を参照

【主要製品・サービス FY15/03期 Q1 前年同期比伸び率】

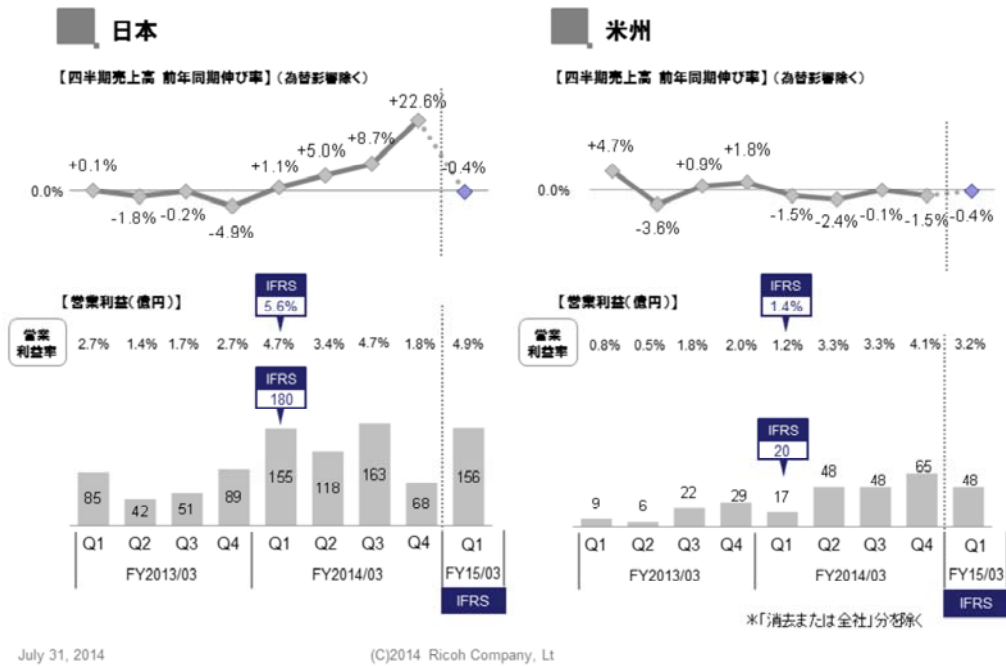
(金額ベース、為替除く)

	モノクロ	カラー
MFP	-19%	+3%
LP	-6%	-3%
カットシートPP	+6%	+41%
サービス事業	+11% (ドキュメント、ITサービス ※PCハード除く)	

- ハードは前年同期比-3%、
ノンハードも前年同期比-4%と減少となりました。
- カットシートPP（プロダクション・プリンティング）は
ハード、ノンハードともに順調に伸びています。

参考◇所在地別セグメント 四半期推移

RICOH
imagine. change.



<日本>

- 売上高は前年同期比-0.4%の減収、
IFRSベースでの営業利益は減益となりました。
- これはIFRS適用に伴い、研究開発投資の資産計上、
減価償却費の発生タイミングにより、前年Q1の営業利益が
かさ上げされたことが影響しています。
実質的にはQ1営業利益は前年同期比で横ばいとなります。

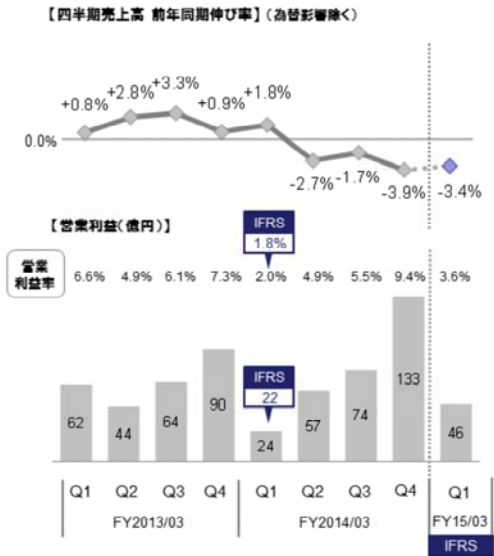
<米州>

- 売上高は-0.4%と減収となりましたが、ほぼ計画どおりです。
- 構造改革効果により増益となり、安定的に利益を出せる体質に
なってきました。

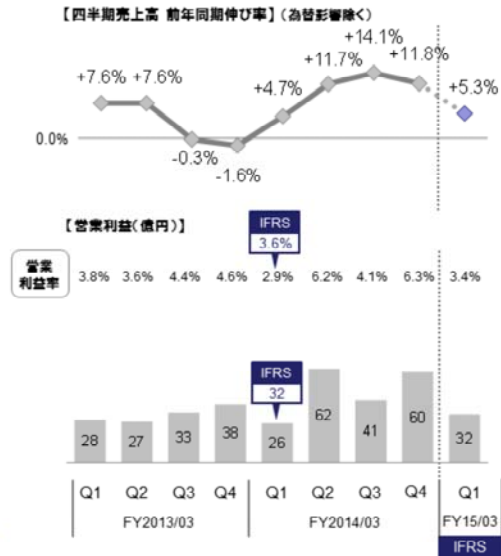
参考◇所在地別セグメント営業利益推移

RICOH
imagine. change.

欧州・中東・アフリカ



その他



July 31, 2014

(C)2014 Ricoh Company, Ltd. All Rights Reserved

*「消去または全社」分額除く

9

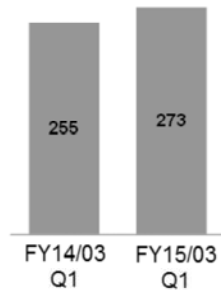
<欧州>

- 売上高は前年同期比-3.4%と減収となりましたが、営業利益率は3.6%と改善しました。
- 前年Q1に構造改革費用が58億円入っていたことが主な増益要因です。

<その他>

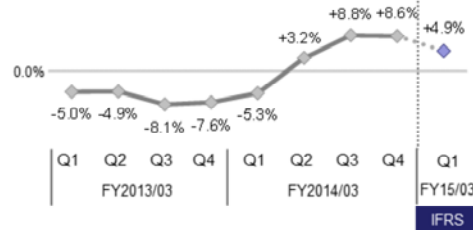
- 売上高、営業利益ともに堅調に推移しています。
- 新興国でのビジネス拡大のための投資も行いながらも、営業利益は前年と同水準を確保しています。

売上高 (単位: 億円)

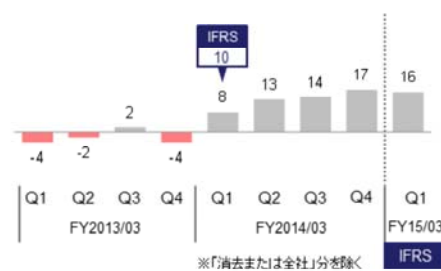


対前年伸び率(為替除く)
+7.4%(+4.9%)

【産業分野 売上高伸び率 四半期推移 (為替除く)】



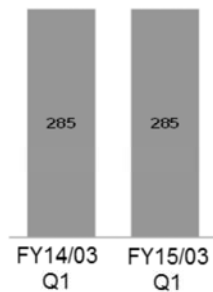
【事業セグメント営業利益※ 四半期推移 (単位: 億円)】



事業セグメント 営業利益※ (億円)	10	16
営業利益率	4.1%	5.8%
	IFRS	IFRS

- 売上高は273億円（前年同期比+7.4%）、為替除く+4.9%の増収。営業利益、営業利益率ともに着実に上昇しています。
- 産業分野は、今後更に成長を期待しており、先月発表したとおり、この分野で新会社を設立して事業の拡大を更に加速していきます。

■ 売上高 (単位: 億円)

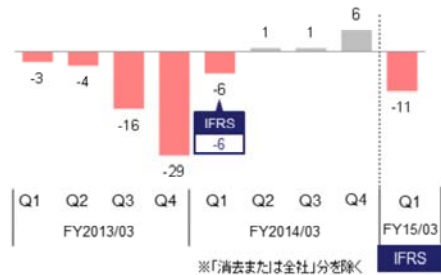


対前年伸び率(為替除く)
-0.1%(-0.6%)

【その他分野 売上高伸び率 四半期推移 (為替除く)】



【事業セグメント営業利益※ 四半期推移 (単位: 億円)】



※「消去または全社」分を除く

	FY14/03 Q1	FY15/03 Q1
事業セグメント 営業利益※ (億円)	-6	-11
営業利益率	-2.2%	-4.0%

- 売上高、営業利益ともに若干減少しています。
- 主な減益要因は、
新規事業の立上げに向けた費用を計上していることや
一時的なリース事業における減益があります。
- デジタルカメラは、減収でしたが、前年同期比では増益でした。
特に新製品のの中判デジタル一眼レフカメラ645Zは評判もよく、
2Q以降での大きな貢献を期待しています。

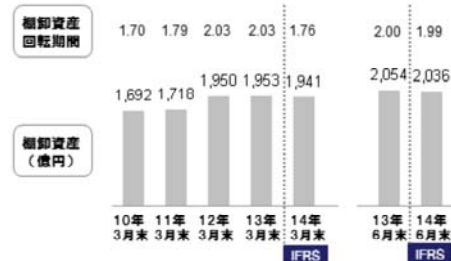
資産の部

(単位: 億円)	2014年6月末	14/03末比 増減額
流動資産	11,333	△336
現金及び預金	1,217	△224
営業債権及びその他の債権	5,159	△287
その他の金融資産	2,507	+10
棚卸資産	2,036	+94
その他の流動資産	412	+69
非流動資産	14,228	△67
有形固定資産	2,702	△4
のれん及び無形資産	3,939	△54
その他の金融資産	5,604	△4
その他の非流動資産	1,982	△4
資産合計	25,562	△404

(14/03末比増減)

(参考) 期末日を替レート: US\$ 1 = ¥ 101.36 (-1.56)
EURO 1 = ¥ 138.31 (-3.34)

棚卸資産回転期間(月数)



総資産回転率(一ヶ月平均回数)



- 資産合計は2兆5,562億円と前年度末比で約400億円の減少となりました。
- 営業債権は、前期末に売上の拡大により増加しましたが、1Qに債権の回収が進み、6月末では減少しました。
- 棚卸資産は94億円増えていますが、前年6月末からは減少しており、回転期間も1.99と若干低下しています。

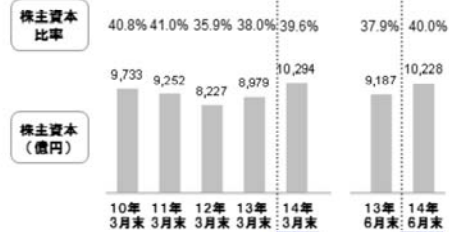
3月末との比較では増加していますが、季節性によるものです。

負債及び資本合計の部

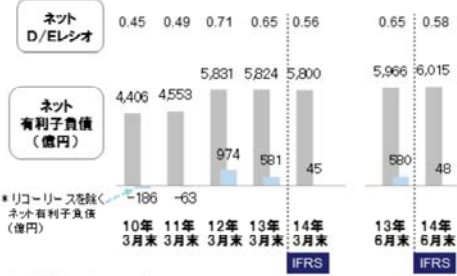
(単位:億円)	2014年6月末	14/03末比 増減額
流動負債	8,641	+284
社債及び借入金	3,308	+590
営業債務及びその他の債務	2,474	△345
その他の流動負債	2,858	+39
非流動負債	6,034	△630
社債及び借入金	3,924	△599
退職給付に係る負債	1,195	△50
その他の非流動負債	915	+19
負債合計	14,675	△346
親会社の所有者に帰属する 持分合計	10,228	△65
非支配持分	657	+7
資本合計	10,886	△57
負債及び資本合計	25,562	△404
有利子負債合計	7,232	△8

(参考)期末日為替レート: US\$ 1 = ¥ 101.36 (-1.56)
EURO 1 = ¥ 138.31 (-3.34)

親会社所有者帰属持分比率(株主資本比率)



ネットD/Eレシオ(倍率)



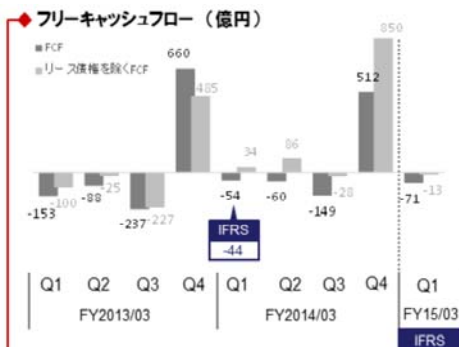
*リコーリースを除く
ネット有利子負債
(億円)

- 有利子負債は7,232億円と前年度末比で8億円の減少とほぼ同じレベルで推移しています。
- ネット有利子負債は6,015億円と前年同期比では若干増えていますが、リコーリースを除いた試算によるネット有利子負債は48億円と前年の580億円から大幅に減少しており、安全性は増えています。

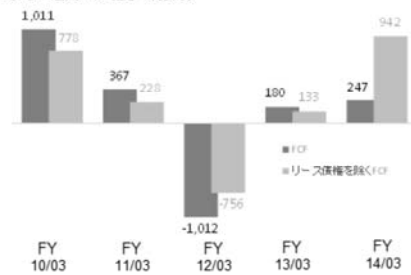
連結キャッシュフロー計算書

RICOH
imagine. change.

(単位：億円)	IFRS	IFRS
	FY2014/03 Apr-Jun	FY2015/03 Apr-Jun
当期利益	130	164
減価償却費	250	266
[当期利益+減価償却費]	[381]	[430]
その他の営業活動	-151	-228
営業活動によるキャッシュフロー	229	201
有形固定資産の購入および売却	-165	-180
事業の買収	0	-25
その他の投資活動	-108	-67
投資活動によるキャッシュフロー	-274	-273
フリーキャッシュフロー(営業+投資C/F)	-44	-71
有利子負債の純増減	209	-4
支払配当金	-119	-119
その他の財務活動	-3	-3
財務活動によるキャッシュフロー	86	-127
換算レートの変動に伴う影響額	23	-15
現金及び現金同等物の純増減額	64	-214
現金及び現金同等物期末残高	1,235	1,185



<参考> 通期FCF推移 (億円)



- 営業活動のキャッシュフローでは、当期利益+減価償却費では430億円と前年から約50億円増加しています。

その他の営業活動では、法人税の支払額が、前年度利益が増加した分50億円ほど増えており、これを除くと前年同期よりもキャッシュを創出しています。

- 投資活動のキャッシュフローでは、トルコの販売会社の買収資金が支出されています。
- フリーキャッシュフローは-71億円と前年の-44億円から30億円弱悪化しているように見えますが、上記の法人税支払、事業買収による支出増を除けば、キャッシュの創出能力は前年同期より改善されています。

2015年3月期 損益計算書見通し

RICOH
imagine. change.

(単位: 億円)	IFRS		前年比較		
	FY2014/03 実績	FY2015/03 見通し	金額差	伸び率	為替影響 除く伸び率
売上高	9,051	9,060	+9	+0.1%	+0.1%
(国内)					
(海外)	12,905	13,540	+635	+4.9%	+3.3%
合計	21,956	22,600	+644	+2.9%	+2.0%
売上総利益	8,732	9,360	+628	+7.2%	
(対売上高%)	39.8%	41.4%			
販売費&一般管理費	7,528	7,960	+432	+5.7%	
(対売上高%)	34.3%	35.2%			
営業利益	1,203	1,400	+197	+16.3%	
(対売上高%)	5.5%	6.2%			
税引前利益	1,180	1,350	+170	+14.3%	
(対売上高%)	5.4%	6.0%			
当期利益(親会社の所有者に帰属)	728	800	+72	+9.9%	
(対売上高%)	3.3%	3.5%			
一株当たり当期利益	100.44	110.35	+9.91		
為替レート					
円/1US\$	100.29	100.54	+0.25		
円/1EURO	134.47	140.03	+5.56		

<投資関連>

(単位: 億円)	FY14/03 実績	FY15/03 見通し
研究開発投資	1,162	1,210
売上高比率	5.3%	5.4%
研究開発費	1,138	1,188
設備投資	729	890
減価償却費 (有形固定資産)	633	740

<FY15/03 為替レート前提>

	Q2-Q4	年間
1USドル	100.00円	100.54円
1ユーロ	140.00円	140.03円

July 31, 2014

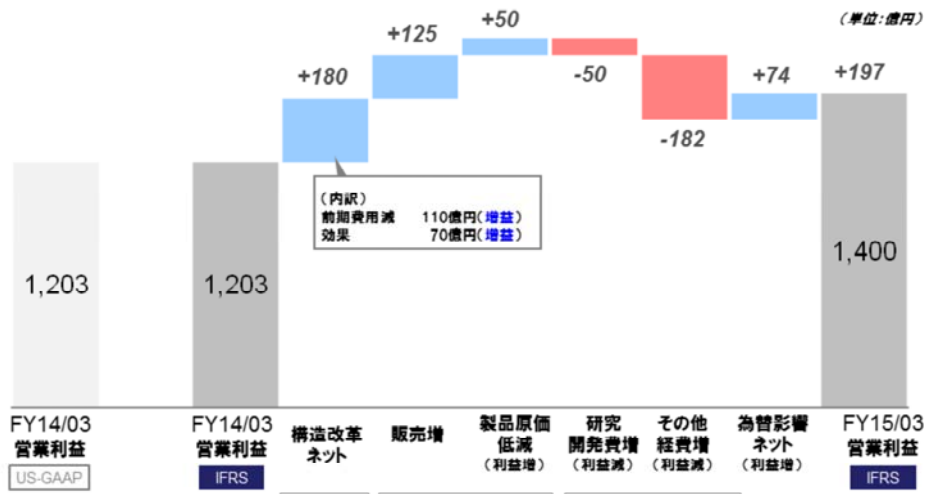
(C)2014 Ricoh Company, Ltd. All Rights Reserved

15

※4月公表の売上見通し2兆3,000億円をIFRSベースに置き換えています。

- 売上高2兆2,600億円（前年同期比+2.9%）、
営業利益1,400億円（前年同期比+16.3%）、
当期利益800億円（前年同期比+9.9%）と、
2015年3月期の業績見通しを継続しています。

2015年3月期 営業利益見通し:前年比増減



(内訳)
前期費用減 110億円(増益)
効果 70億円(増益)

特殊要因 売上総利益項目 販売管理費項目

(参考)為替の前提

	FY14/03 実績	FY15/03 見通し	前年差
USドル	100.29	100.54	+0.25
ユーロ	134.47	140.03	+5.56

(参考)為替影響度

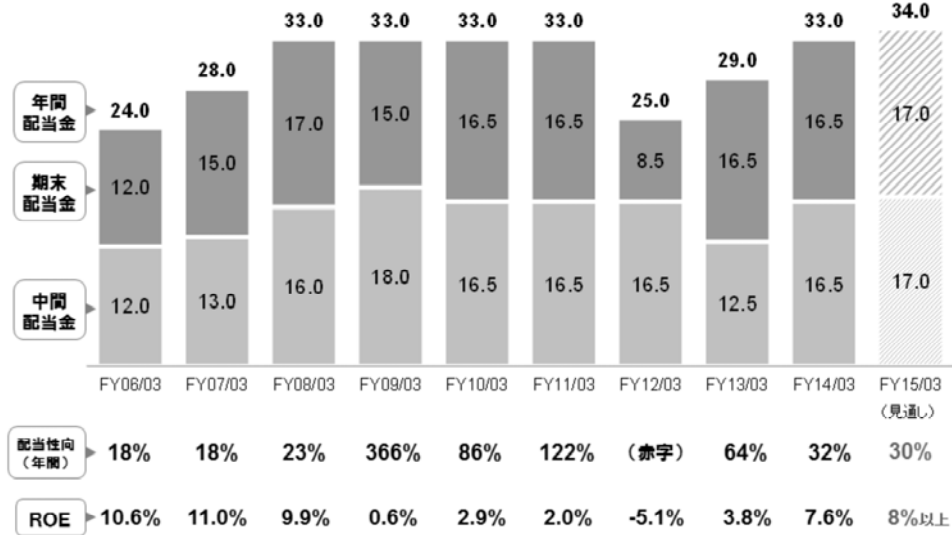
	売上	営業利益
USドル	60	8
ユーロ	38	14

- 4月に公表した増減見通しから変更していません。

配当金 & ROE推移

RICOH
imagine. change.

(単位:円)



July 31, 2014

(C)2014 Ricoh Company, Ltd. All Rights Reserved

17

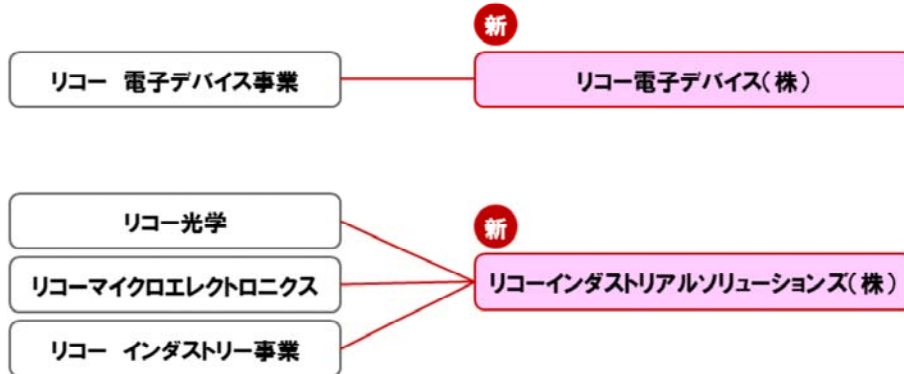
- 2015年3月期の配当は1円増配の年間34円（配当性向30.8%）を予定しています。年間配当金として過去最高水準となります。今後も30%程度の総還元性向を維持する計画です。
- ROEは8%以上を目指し、更なる努力をしていきます。

以降、補足情報

電子デバイス事業の新会社設立、および光学機器事業、電装ユニット事業を統合した新会社を設立(2014年10月予定)

<目的>

画像&ソリューション事業に次ぐ、新たな事業の柱として産業向け事業の強化。個々の領域で、スピーディーな経営判断を行い、お客様や市場の変化に対応、新たな商品、サービスの提供により成長を目指す。



FA、セキュリティ、車載などの産業用途向け事業を拡大



FA
(ファクトリーオートメーション)



車載用途

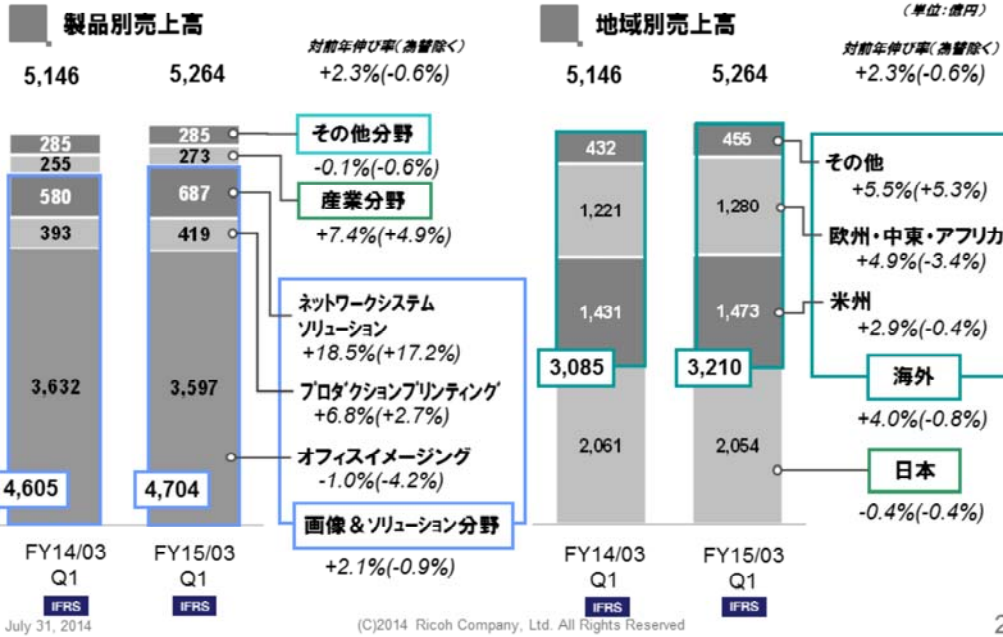


セキュリティ

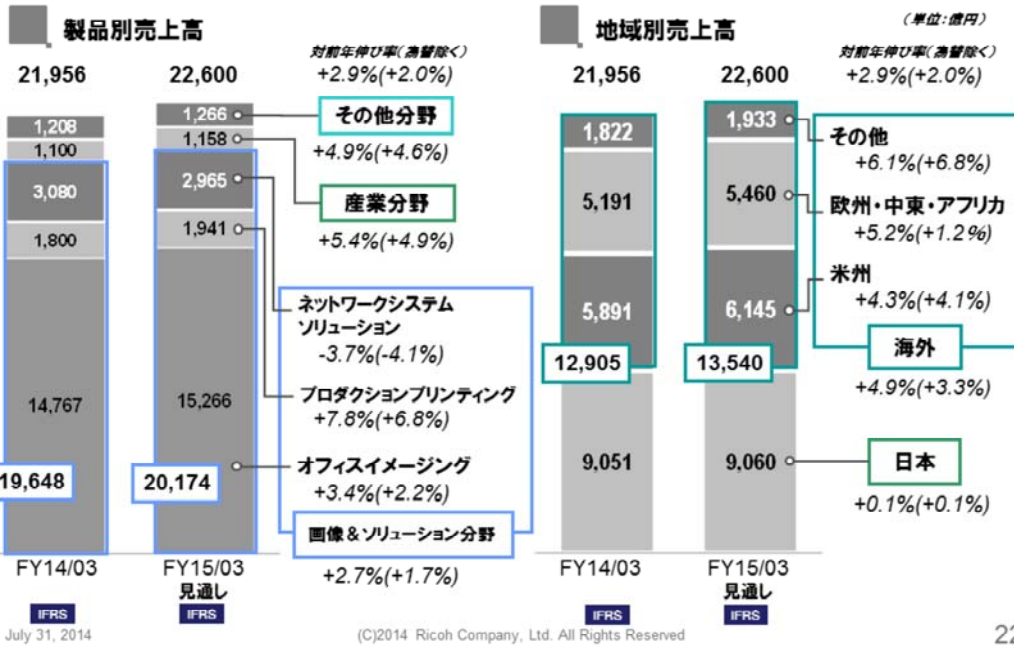
産業分野を3年間で1.5倍の事業規模に（年平均10%成長）

2015年3月期 第1四半期 分野別売上高

RICOH
imagine. change.



2015年3月期 分野別売上高見通し



画像 & ソリューション分野売上高 製品別構成比 *為替影響含む金額ベース比率

	FY2013/03				FY2014/03				FY2015/03	FY13/03	FY14/03
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Total	Total
MFP	58%	55%	57%	57%	57%	52%	54%	51%	55%	57%	53%
オフィスプリンター	10%	10%	10%	10%	9%	9%	9%	9%	9%	10%	9%
プロダクションプリンティング(PP)	9%	9%	9%	9%	9%	10%	10%	9%	9%	9%	9%
オフィスイメージング他	6%	6%	6%	6%	5%	5%	5%	6%	5%	6%	6%
サービス事業(ドキュメント・IT)	10%	11%	11%	12%	11%	12%	12%	13%	12%	11%	12%
NSS他	8%	9%	8%	7%	9%	11%	11%	12%	10%	8%	11%

MFP・プリンター ノンハード比率 *為替影響含む金額ベース比率

		FY2013/03				FY2014/03				FY2015/03	FY13/03	FY14/03
		Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Total	Total
MFP	国内	58%	61%	60%	50%	55%	60%	58%	48%	55%	57%	54%
	海外	55%	53%	55%	53%	56%	56%	56%	53%	56%	54%	55%
	合計	56%	56%	57%	52%	56%	57%	57%	51%	56%	55%	55%
オフィスプリンター	国内	88%	88%	88%	85%	88%	85%	87%	88%	89%	87%	87%
	海外	73%	69%	74%	72%	72%	71%	69%	71%	69%	72%	70%
	合計	81%	79%	81%	78%	80%	78%	78%	79%	78%	80%	79%
PP	国内	63%	58%	61%	55%	71%	65%	61%	54%	63%	59%	62%
	海外	56%	57%	60%	59%	62%	54%	55%	50%	62%	58%	55%
	合計	58%	57%	60%	58%	63%	56%	56%	51%	62%	58%	56%

MFP・プリンター総合計（オフィスイメージング + PP）前年同期伸び率

		FY2013/03				FY2014/03				FY2015/03	FY13/03	FY14/03
		Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Total	Total
【ハードウェア】												
MFP+プリンター計	国内	-6%	-2%	+11%	-2%	-3%	-7%	+3%	+10%	-2%	+0%	+1%
(オフィス+PP)	海外	+0%	-11%	+0%	+11%	+20%	+19%	+27%	+11%	+1%	+0%	+19%
	(為替除く)	+7%	-7%	-4%	-3%	-3%	-7%	+1%	-2%	-4%	-2%	-3%
	合計	-2%	-8%	+3%	+6%	+13%	+11%	+19%	+11%	+0%	+0%	+13%
	(為替除く)	+2%	-5%	+1%	-3%	-3%	-7%	+2%	+2%	-3%	-1%	-1%
【ノンハード】												
MFP+プリンター計	国内	+2%	-2%	-2%	-7%	-4%	-3%	-3%	+2%	-6%	-2%	-2%
(オフィス+PP)	海外	-4%	-4%	+7%	+19%	+24%	+29%	+24%	+6%	+2%	+5%	+20%
	(為替除く)	+4%	+1%	+4%	+3%	+0%	+1%	-2%	-6%	-3%	+3%	-2%
	合計	-2%	-3%	+3%	+8%	+13%	+16%	+13%	+5%	-0%	+2%	+11%
	(為替除く)	+3%	+0%	+1%	-1%	-1%	-1%	-2%	-3%	-4%	+1%	-2%

※オフィス向けMFP・プリンタ、カットシート・連帳PPハードウェア・ノンハードウェア売上高合計の伸び率（ソリューション・他社仕入れ品販売等の売上は含まず）

MFP・プリンター(オフィスイメージング:MFP・オフィス向けプリンタ) 前年同期伸び率 *金額伸び率

【ハードウェア】		FY2013/03				FY2014/03				FY2015/03	FY13/03	FY14/03
		Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Total	Total
MFP+プリンター計	国内	-6%	-3%	+11%	-2%	-2%	-6%	+3%	+10%	-3%	-1%	+2%
(オフィスイメージング)	海外	-3%	-10%	+1%	+12%	+21%	+15%	+22%	+5%	-0%	+0%	+15%
	(為替除く)	+4%	-6%	-2%	-2%	-2%	-10%	-3%	-7%	-5%	-2%	-6%
	合計	-4%	-8%	+4%	+6%	+13%	+8%	+15%	+7%	-1%	+0%	+10%
	(為替除く)	+0%	-5%	+2%	-2%	-2%	-9%	-1%	-1%	-4%	-1%	-3%
MFP	国内	-6%	-1%	+12%	-1%	-1%	-8%	+2%	+11%	-3%	+0%	+2%
	海外	-4%	-12%	+0%	+12%	+22%	+15%	+21%	+5%	-1%	-1%	+15%
	(為替除く)	+3%	-8%	-3%	-2%	-2%	-11%	4%	-7%	-6%	-3%	-6%
	合計	-4%	-9%	+4%	+7%	+13%	+7%	+15%	+7%	-2%	+0%	+10%
	(為替除く)	+0%	-6%	+2%	-2%	-1%	-10%	-2%	-1%	-5%	-2%	-3%
オフィスプリンター	国内	-1%	-16%	-2%	-19%	-13%	+15%	+8%	+3%	-14%	-11%	+4%
	海外	+8%	+22%	+17%	+10%	+15%	+18%	+20%	+2%	+15%	+13%	+15%
	(為替除く)	+16%	+28%	+13%	-4%	-7%	-7%	+2%	-9%	+10%	+12%	-6%
	合計	+5%	+6%	+10%	-2%	+5%	+17%	+21%	+3%	+7%	+4%	+11%
	(為替除く)	+10%	+9%	+8%	-10%	-9%	+0%	+4%	-5%	+3%	+3%	-3%

MFP・プリンター(オフィスイメージング:MFP・オフィス向けプリンタ) 前年同期伸び率 ※金額伸び率

【ノンハード】		FY2013/03				FY2014/03				FY2015/03	FY13/03	FY14/03
		Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Total	Total
MFP+プリンター計	国内	+2%	-3%	-2%	-7%	-4%	-3%	-3%	+2%	-5%	-2%	-2%
(オフィスイメージング)	海外	-5%	-6%	+7%	+18%	+22%	+29%	+22%	+5%	+1%	+4%	+19%
	(為替除く)	+3%	-1%	+4%	+2%	-2%	+0%	-3%	-6%	-5%	+2%	-3%
	合計	-2%	-4%	+3%	+7%	+11%	+15%	+12%	+4%	-2%	+1%	+10%
	(為替除く)	+2%	-2%	+2%	-2%	-2%	-1%	-3%	-3%	-5%	+0%	-3%
MFP	国内	+0%	-4%	-3%	-6%	-4%	-2%	-3%	-2%	-3%	-3%	-3%
	海外	-5%	-5%	+7%	+17%	+24%	+29%	+24%	+9%	-0%	+3%	+21%
	(為替除く)	+2%	+0%	+4%	+1%	+0%	+1%	-2%	-3%	-5%	+2%	-1%
	合計	-3%	-5%	+3%	+8%	+14%	+17%	+14%	+6%	-1%	+1%	+12%
	(為替除く)	+1%	-2%	+1%	-2%	-1%	+0%	-2%	-3%	-5%	+0%	-2%
オフィスプリンター	国内	+9%	+1%	+1%	-8%	-4%	-5%	-3%	+10%	-11%	+0%	-0%
	海外	-3%	-10%	+10%	+22%	+11%	+25%	+13%	-14%	+6%	+5%	+6%
	(為替除く)	+6%	-5%	+6%	+7%	-11%	-3%	-10%	-24%	+0%	+4%	-13%
	合計	+4%	-3%	+5%	+3%	+2%	+7%	+4%	-1%	-3%	+2%	+3%
	(為替除く)	+8%	-1%	+3%	-3%	-7%	-4%	-6%	-6%	-6%	+2%	-6%

ご説明の際はできるだけ、指示語(これ、あれ、等)ではなく、項目名も読み上げてから、数値、差異などを説明いただきますようお願いいたします。

補足◇データ集(5)

RICOH
imagine. change.

プロダクションプリンティング(PP) 前年同期伸び率

【ハードウェア】		FY2013/03				FY2014/03				FY2015/03	FY13/03	FY14/03
		Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Total	Total
PP	国内	-10%	+8%	+4%	+10%	-29%	-22%	+2%	+7%	+21%	+3%	-9%
	海外	+32%	-13%	-9%	+5%	+11%	+46%	+67%	+59%	+13%	+1%	+46%
	(為替除く)	+39%	-10%	-13%	-9%	-10%	+15%	+34%	+39%	+8%	-1%	+20%
	合計	+21%	-9%	-7%	+6%	+4%	+32%	+54%	+48%	+14%	+2%	+35%
	(為替除く)	+27%	-6%	-10%	-5%	-14%	+8%	+27%	+32%	+10%	+0%	+14%
【ノンハード】												
PP	国内	+5%	+6%	-9%	-2%	-1%	+4%	+2%	+4%	-15%	+0%	+2%
	海外	+5%	+13%	+7%	+31%	+38%	+31%	+36%	+10%	+16%	+14%	+27%
	(為替除く)	+11%	+18%	+4%	+14%	+12%	+3%	+8%	-3%	+10%	+12%	+4%
	合計	+5%	+12%	+3%	+23%	+29%	+25%	+29%	+9%	+10%	+11%	+22%
	(為替除く)	+10%	+15%	+1%	+10%	+9%	+3%	+7%	-2%	+6%	+9%	+4%

※カットシート機、連帳機のハードウェア・ノンハードウェア売上高合計の伸び率(ソリューション売上等は含まず)

補足◇データ集(6)

RICOH
imagine. change.

MFP・プリンター カラー比率 *ハードウェア出荷、金額ベース

		FY 2013/03				FY 2014/03				FY2015/03	FY13/03	FY14/03
		Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Total	Total
MFP	国内	70%	68%	74%	71%	76%	80%	85%	80%	85%	71%	80%
	海外	56%	55%	56%	56%	54%	52%	58%	61%	62%	56%	57%
	合計	61%	59%	62%	61%	61%	60%	67%	68%	70%	61%	64%
オフィスプリンター	国内	44%	43%	45%	49%	47%	41%	42%	44%	49%	46%	43%
	海外	32%	32%	33%	29%	32%	33%	31%	34%	31%	31%	33%
	合計	36%	36%	37%	36%	36%	36%	34%	38%	35%	36%	36%
PP	国内	6%	8%	7%	14%	31%	29%	27%	32%	32%	9%	30%
	海外	56%	54%	56%	53%	56%	62%	66%	69%	65%	55%	64%
	合計	47%	44%	46%	45%	53%	58%	60%	64%	60%	45%	59%

期末従業員数 *各期末時点(単位:名)

		FY 11/03	FY 12/03	FY 13/03	FY 14/03	FY 15/03
						Q1
日本		40,072	38,519	37,401	36,873	37,273
海外	米州	34,139	33,262	31,475	31,853	31,697
	欧州・中東・アフリカ	17,350	17,637	18,229	18,422	18,485
	中国	11,808	11,960	12,094	11,932	12,151
	アジア・パシフィック	5,645	7,864	8,232	9,115	9,706
	小計	68,942	70,723	70,030	71,322	72,039
合計		109,014	109,242	107,431	108,195	109,312

July 31, 2014

(C)2014 Ricoh Company, Ltd. All Rights Reserved



<http://www.ricoh.com/ja/IR/>

【主なQ&A】

- Q：ここのところ自社株買いの意向は示しているが、まだ実施されていない。今期に関しても配当のみで目安としている総還元性向30%に達する見通しでもあり、自社株買いの可能性はないということか？
- A：着実にキャッシュを創出し、またビジネス上必要となる他の投資を見ながら自社株買いも適宜実施していきたいと考えており、その考え方に変化はない。
- Q：通期の営業利益目標は昨年度と変わらない。今年度は昨年度あった生産問題等のマイナス要素が無くなることから上方修正があっても良いと思うがどうか？
- A：まずは目標値である営業利益1,400億円をやりきりたい。その上でご期待にこたえていきたい。
- Q：オフィスイメージングは前年度の第1四半期の水準もあまり高くない中で、今年度も減収となった理由は？
- A：昨年度、生産問題に起因してセールスの活動量が低下したことにより、欧州を中心に見込み商談の数が例年に比べ少なくなっていることが背景にある。ただし6月にかけて状況は改善してきている。
- Q：第2四半期は前年度から利益率が改善する計画だがその背景は？
- A：主には昨年度特需のあったPCなどの仕入販売が減少し、収益性の高い製品の売上構成が高まることがある。